

安全衛生・兵庫

安全のABC原則

■(A) あたり前のことを (B) バカにしないで (C) ちゃんとやる。

◆災害は、自己流(他から教えられたのではない、自分だけの独特のやり方。我流。)、無手勝流(自分で勝手にきめた流儀。自分勝手にやること。)、など、こうした方が合理的な考えや行動、確認不足などから発生します。人間というのは自分うぬぼれていたり、決められたことより、ちよつといい考えを思いつくと、そつちをやってみたくなったり、手抜きをしてみます。決められた作業方法や手順が面倒くさく、馬鹿馬鹿しいやり方に思えてしまうことも多々あるかと思えます。

◆ところが、たいていの場合それが仇となって災害を生み出すのです。決められた作業方法は、ちよつと不合理に思えても、そのやり方はこれまでの**失敗や災害から得られた教訓**が盛り込まれています。急がば回れ、ではありませんが、その方が安全なんです。ちよつと作業方法を合理化して災害になるより、手間がかかっても安全に作業を進めた方が、長い目で見ると仕事は早く終わり、合理的ではないでしょうか。

◆安全衛生に関する通達やマニュアルには**過去の経験と知恵が詰まっています**。失敗の歴史です。まずは、それらをしっ

かりと学んで理解しておくことは、失敗を防ぎ、確実にをより高めていきます。環境の変化が著しい山では、



あまりにマニュアルに拘りすぎるのもいけません。無視することは出来ません。

◆無知と無視は紙一重で、不勉強による無知は無視と同じです。安全通達やマニュアルを知っていて、それを現実に合わせてアレンジできるのが、技術者の実力ではないでしょうか。

◆保護具を確実に装着しているか? 急傾斜地は迂回して安全を確保しているか? 機の周りは整理整頓がきちんと出来ているか? スピードを控えて安全運転しているか? 等に始まる原則です。◆また、経験等による馴れや、過信からくる不**安全行動**については、**気づいた人がすぐに指摘して、反復して徹底すること**により、基本動作の完全定着化を図ることが大切です。

◆そのほか、
(A) あたり前のことを
(B) ぼんやりしないで、バカになって
(C) ちゃんとやる。

皆さん、山での作業や自動車の運転の前には、この「安全のABC」を**思い起こし心がけ**、災害を防止していきましょう。(次長)

聞かなきゃよかった話

Q 朝起きてすぐ歯をみがくとむしろ虫歯になりやすい?

A 朝起きてすぐの歯磨きは虫歯予防に効果あり。朝起きたときが一番口の中が汚れているから。

Q 食べたらず歯を磨く?

A 食事に含まれる酸により歯の表面が一時的に柔らかくなるので、その状態で歯ブラシでみかくと歯が傷つきポロポロに! 唾液などの作用で回復した約30分くらい後にみがくのが良い。

■かつては「理想の歯磨きは3...3...3(一日



3回、食後3分以内に3分間」と言われていたが、近年は変わってきているらしい。

食事をとると、口の中のPHが酸性に傾きます。酸性が強くなっているときに歯をガシガシこすって磨くと、表面が削れて溶けてしまい、「**酸蝕**」になるとも言われています。また、本当は1日1回歯磨きを「完璧」にできれば良いのですが、なかなか磨けないもの。そこで、1日3回やることで足りない分を補う意味があり、あとは、1日1回十分な時間がとれるとき、できれば夜寝る前にきちんと磨くことです。

Q 粉薬の粉はほとんど効果のない粉?

A 効果のある粉は、1gの粉薬であれば1割。残りの9割は賦形剤などの薬理作用のないもので出来ている。(賦形剤とは乳糖やでんぷんなど人体に無害な粉)

Q 効果のない粉を、なぜ9割も増すのか?

A 効く成分のみでは非常に量が少ないため飲み辛く、そもそも薬を作るのが非常に難しくなる。かさ増しなどを目的に加えられている。カプセルや錠剤も一緒。

■薬理作用のあるものだけでは形にならず、さらに注射も一緒。効き目を長持ちさせるための安定剤などでかさ増しされている。ちなみに薬のCMでよく聞く「ヒンポン」という音。使用上の注意を讀んでもらうための決まりの音。薬のCMには注意喚起を促す音声を入れるのが決まりだそうです。

(テレビ番組より)



この花なあに?